

|                         |  |            |
|-------------------------|--|------------|
| 事業名                     | 代表者所属  | 津山工業高等専門学校 |
| 08KJ-03                 | 代表者  | 教授 福田 昌准   |
| 空高く飛ばそう！ 競技用ペーパーグライダー講座 | 開催地  | 岡山県        |
|                         | 助成金額   | 10万円       |
| 活動概要                    | <p>日時： 2008年7月27日(日) 13時～17時</p> <p>場所： 津山工業高等専門学校, 教室およびグラウンド</p> <p>対象： 小中学生(小学校3年生以上, 小学生は保護者同伴で保護者も参加)</p> <p>参加者(人) 35人<br/>                   内訳(保護者;16人)(生徒;19人)</p> <p>内容 紙飛行機の製作と調整・飛行を通して, 飛行の原理の理解, ものづくりの楽しさ・難しさを体験<br/> 講演;0件、発表;0件、シンポジウム;0件</p> |            |



小松先生による製作指導



紙飛行機の製作



簡易風洞による揚力実験



紙飛行機の打ち上げ

## 事業の目的・ねらい

小中学生を対象に実施し、競技用紙飛行機の製作と調整・飛行を通して、飛行の原理を理解するとともに、ものづくりの楽しさと難しさを体験し、科学技術への興味・関心を深めてもらう。

## 事業の概要

小中学生向けに津山高専主催の公開講座として、夏季休業中に本校を会場に実施した。講師には、「ジャパンカップ全日本紙飛行機選手権大会」において3回の優勝経験を有する小松秀二氏（津山高専機械工学科の卒業生）および小松真依子氏を招いた。講師は2名とも日本紙飛行機協会認定指導員であり、紙飛行機教室の指導経験豊富な専門家である。

本講座では、以下の3部門を実施した。

- (1) 紙飛行機の製作:講師の指導で紙飛行機を製作
- (2) 飛行原理の理解:簡易風洞を使って飛行原理の実験と操縦法の解説(揚力の発生)
- (3) 飛行と調整:グラウンドで、製作した紙飛行機をゴムの力で空高く打ち上げる。翼の調整を加えて飛行機の滞空時間を記録する(「ペーパーグライダー フライト認定書」の発行)。

なお、機体製作や飛行時間計測には本校学生の協力を得た。

## 結果及び効果

参加者は全員熱心に講師の説明に耳を傾け、紙飛行機の製作に取り組んだ。特に猛暑の中での飛行では、滞空時間を少しでも延ばそうと翼の調整を行い、滞空時間が20秒を超えた参加者もおられた。

「来年もあるのですか」、「紙飛行機がこんなに面白いものだとは知りませんでした」との感想もいただいた。暑い時期での実施だったため、「もう少し涼しいときにしてほしかった」との要望もあったが、終了後のアンケート結果から、ほぼ全員に満足いただいたようである。小中学生には、「ものづくり」の楽しさや難しさが分かってもらえ、理科離れ防止に少しは役に立てたと感じている。今後も小中学生向けの公開講座を継続していく予定である。

「財団法人マツダ財団」の本講座への助成に感謝申し上げます。